

中学生の頃、職業適性検査がありました。能力ではなく、関心の所在を調べ、進路指導に役立てるためのものであったようです。中卒で就職することが多かった時代でした。この検査の結果は信頼できるものだった、と60年を過ぎた今も考えています。学校側は、新しい試みであり、あまり信頼していなかったようです。就職者の指導程度に利用したようです。私の適性は、農事気象、と文学でした。ほかにもあったはずですが忘れました。この二つへの関心は、今でも続いています。先日、次のようなニュースが流れました。

「人類は地球温暖化による『気候の緊急事態』に直面しており、このままでは経済や社会に破局的な影響が生じる」と警告する論文を米オレゴン州立大の研究者がまとめ、趣旨に賛同する153カ国、約1万1千人の科学者の氏名と共に、生態学の専門誌に13日までに発表した。日本からも山本良一・東京大名誉教授らが賛同した。」

「水の都として知られ、世界遺産に登録されているイタリア・ベネチアの歴史地区が12日、高潮の被害を受けて水没した。中心部にある観光名所のサンマルコ広場は一面、数十センチの高さまで浸水。観光客は水上の渡し板を伝って移動する事態になっている。

ベネチア市によると、12日午後10時50分（日本時間13日午前6時50分）に、187センチの高潮を記録。1966年に記録した194センチに次ぐ高さとなった。市の高潮対策センターによると、110センチを超えると住宅に浸水被害が出るといい、12日朝には市内に高潮警報のサイレンが響き渡った。」

サンマルコ広場の冠水は、従来もありました。規模と頻度が違います。これまでの標準が無効となり、新しい標準の設定が求められています。日本列島は、温帯気象といわれてきました。亜熱帯化が進んでいるのではないのでしょうか。その原因は、私たちにあります。